

海に学ぶ。



NIIGATA PREFECTURAL
KAIYO
HIGH SCHOOL

海を知る。

TOTAL SCHOOL GUIDE BOOK 2026

新潟県立海洋高等学校
NIIGATA PREFECTURAL KAIYO HIGH SCHOOL

新潟県立海洋 検索 



「海・船・魚」のことを本気で学べる

本校の創立は、明治31年(1898年)、地域の熱い期待を担って、尋常高等小学校で「水産」の授業が開始され、「能生町立水産補習学校」として開学したことにさかのぼります。平成5年に校名を「新潟県立海洋高等学校」に改称し、地域連携をとらして「地方創生に挑戦する学校」として教育活動を継続し、今年度創立127年を迎えます。

本校の1年生は、水産科として水産・海洋に関する内容を広く学習します。そして、2年生からは、水産資源科(資源育成コース・食品科学コース)と、海洋開発科(海洋技術コース、海洋創造コース)の2学科(4コース)に分かれ、それぞれ専門的な内容を学習します。生徒は、確かな学力と技術を身につけるため、実習船「海洋丸」、潜水実習プール、栽培漁業実習施設、食品科学実習施設、海洋工学実習施設など、大変恵まれた施設・設備を活用し、生き生きと学習活動に取り組んでいます。

また、本校は、糸魚川市、水産加工販売業者の(株)能水商店と連携し、文部科学省委託事業のマイスター・ハイスクール事業に取り組んでいます。ここでは、探究学習による「深い学び」に力を入れ、優れた成果を創出する個人の能力・行動特性である「コンピテンシー」の伸長において成果を上げ、地域活性化に貢献できる人材の育成を行ってきました。

このように、「海・船・魚」のことを本気で学べる本校に入学し、海洋立国日本を担うスペシャリストを目指してみませんか。本校のホームページでは、日々の教育活動や生徒の様子等について、タイムリーな情報をお届けしております。そこから、本校の魅力や生徒たちの活躍を、多くの皆様にご覧いただければ幸いです。

新潟県立海洋高等学校長 保坂 哲

教育目標 人間として調和のとれた育成を目指し、一般的な教養を高め個性を生かす教育の充実に努め、社会の変化に主体的に対応できる能力を育て、望ましい職業観・勤労観を育成する。

01 質実剛健

飾りがなくまじめで、心やからだが強たくまいこと。

02 進取力行

みずから進んで積極的に新しい事をなし、精一杯努力して取り組むこと。

03 水産報国

水産・海洋関連の仕事を通じ、我が国及び国際社会に貢献すること。

FUTURE 生き生き学べる特徴的な活動

1 1年生基礎教育の充実

- 科目「水産海洋基礎」
水産海洋に関する全ての学問分野の座学および実習
- 科目「地域探究」
糸魚川市の自然・歴史・文化・食・産業について体験とおとしで理解を深め、地域と協働して「地域おこし」の可能性を探究します。

3 先進的な探究学習

- 国内唯一のHACCP(危害分析に基づく重要管理点による管理)方式による冷くん品の製造実習(食品科学コース)
- 高級魚「アカムツ」の種苗生産・放流実習(資源育成コース)
- DNA分析によるチョウザメの雌雄判別(資源育成コース)
- 海洋資源・海洋エネルギーに関する学習(海洋創造コース)

2 実習船「海洋丸」による乗船実習

- 1年生の体験航海
- 海洋技術コースの国内航海
- 海洋創造コースの新潟県沿岸航海



4 地域貢献、社会貢献

- 交流人口拡大を目指した集客イベントの開催
- 企業との連携による水産加工品開発、販売
- ヒラメ・アカムツの養殖・放流
- 県警・消防署・地域の救命訓練での水深10m潜水プールの活用
- 海岸清掃、魚付き保安林などの海洋環境保全活動

CURRICULUM 学科・コースの特色

実習船「海洋丸」(322t)、水深10m潜水プール、栽培漁業臨海実習棟など、県内屈指の施設・設備の中で、学びたいことを思い切り学習することができます。



Fishery Cultivation
資源育成
コース
(定員20名*)

Fishery Provision
食品科学
コース
(定員20名*)

Marine Technology
海洋技術
コース
(定員20名*)

Marine Engineering
海洋創造
コース
(定員20名*)

*各コースの定員は入学人数の25%とする

SCHEDULE 海洋高校の1年

海洋高校の制服



4月~6月

- 入学式
- 対面式・生徒会オリエンテーション
- 生徒総会
- 生徒意見・体験発表会
- PTA総会
- スプリングトーナメント
- 出張学校説明会

7月~9月

- 1年生体験乗船
- カッター大会
- 三者面談
- マリンスポーツ集中実習
- 体験入学
- 1年生インターンシップ

10月~12月

- 生徒研究発表大会
- 1年生上級学校見学
- 井陵祭(文化祭)
- 学校説明会
- 生徒会長選挙
- 修学旅行
- ウィンタートーナメント

1月~3月

- 生徒総会
- スキー授業
- 校内ビジネスプランコンテスト
- 特色化選抜・一般選抜
- 卒業式
- 離任式
- 合格者オリエンテーション

CLUB ACTIVITY 部活動

ダイビング部、カッター部、相撲部、食品研究部は全国的な活躍をしています

- 野球部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- バドミントン部
- カッター部
- ダイビング部
- 相撲部
- 柔道部
- 食品研究部
- 海洋生物研究部
- 美術部



豊かな海づくりへの挑戦

Let's cultivate fish together

～いっしょに魚を育てよう～

有用魚介類であるヒラメやアカムツ、チョウザメやイトウ、マコブなどの種苗生産・放流、養殖に関する学習を通じて、水産生物をつくり育てるための知識や技術を学習したり、生命の神秘や命の大切さ・尊さについて学びます。



主な
専門
科目

総合実習

有用魚介類であるヒラメやアカムツ、チョウザメやイトウ、マコブなどを対象に、種苗生産、放流、養殖、フィールド調査に関する基本的な知識と技術を発展的に学びます。

資源増殖

有用魚介類を対象に、種苗生産や育成技術などの増養殖に関する知識と技術を学びます。

海洋生物

海洋や陸水に生息する多様な生物の体の仕組みや生態について学びます。

海洋環境

海洋や陸水における環境の特性とそこで生活する生物との関連について学びます。

■カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学I	化学基礎	体育	保健	芸術選択 (美術I・音楽I)	英語 コミュニケーションI	水産海洋基礎	海洋情報技術	地域探究	ホーム ルーム 活動			
2年	国語表現	地理総合	数学II	生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	水産海洋科学	資源増殖	海洋生物	海洋環境	小型船舶	ホーム ルーム 活動
3年	国語表現	歴史総合	数学II	物理基礎	体育	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	資源増殖	海洋生物	海洋環境	ダイビング	ホーム ルーム 活動		

■在校生の声



大橋 由愛 (水産資源科 資源育成コース・3年)

魚類や海洋哺乳類に興味があり、高校生のうちから海洋生物にふれながら学びたいと考え、海洋高校に入学しました。資源育成コースでは、ヒラメやアカムツなどを卵から育て、放流や養殖を行っています。また、上越市立水族博物館うみがたりと連携して、魚の飼育と水耕栽培を同時に行う「アクアポニックス」の共同実施やアカムツの展示なども実施しました。それ以外にも大学や企業との外部連携が多く、実践的な学習ができます。卒業後は水産系大学に進学し、将来は水族館の飼育員になりたいと考えています。

安全な食品を「つくる」「売る」楽しさの追求

『サカナ』で地域活性化!

安心安全な食品を「加工」するだけでなく、どのように「販売」していくかを学びます。学びのフィールドは学校だけでなく、企業や地域です。さまざまな体験をとおして課題を見つけ、『サカナ』で地域を盛り上げていく学習活動に取り組めます。



主な
専門
科目

総合実習

2年生は主に魚介類を活用した調理実習、3年生は国際的に標準化された衛生管理システムであるHACCPを導入した水産加工実習を行います。

食品製造

食品の製造原理や加工技術に関する知識と技術を学び食品工場で生産管理をする基礎的な能力を身に付けます。

食品管理

食品の成分分析や微生物について実験を通じて食品の品質管理と安全管理に関する知識と技術を学びます。

調理科学

調理や献立、配膳等に関する知識と技術を科学的かつ文化的な視点で学びます。

■カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学I	化学基礎	体育	保健	芸術選択 (美術I・音楽I)	英語 コミュニケーションI	水産海洋基礎	海洋情報技術	地域探究	ホーム ルーム 活動		
2年	国語表現	地理総合	数学II	生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	小型船舶	食品製造	食品管理	調理科学	ホーム ルーム 活動
3年	国語表現	歴史総合	数学II	物理基礎	体育	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	食品製造	食品管理	水産流通	ホーム ルーム 活動		

■在校生の声



大井 陸 (水産資源科 食品科学コース・3年)

海と魚、そして料理が好きで、これらを学べる海洋高校に入学を決めました。食品科学コースでは鯖の水煮缶詰などの製造実習、あんこう吊るし切りショーに向けた練習など、様々な実習を行っています。座学では水産食品について学んでいて、実際に作って食べたりもしています。卒業後は調理の専門学校へ進学したいと考えています。

人間と海の明日を拓く

大海原に挑戦を!

海洋技術コースのフィールドは海上です。そこで活動するためには「船」を自在に操る必要があります。操船技術や航法計算、海上での交通方法を学習します。また、魚を獲るための漁法や永久的に漁獲するための管理方法について取り組みます。



主な
専門
科目

総合実習
課題研究

実習船「海洋丸」[くびき]による乗船実習(漁業実習)等の他、一級小型船舶操縦士免許取得に必要な知識と技術を学びます。

航海・計器

船舶を安全にかつ適切に航海させるために必要な航法や航海・計器、海上法規など海技士(航海)免状取得に必要な知識と技術について学びます。

船舶運用

船舶を安全にかつ適切に運用するために必要な操船や整備、海上気象など海技士(航海)免状取得に必要な知識と技術について学びます。

漁業

国民に良質な動物性タンパク質を安定供給するために必要な資源管理型漁業や漁業経営に関する知識と技術について学びます。

■カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学I	化学基礎	体育	保健	芸術選択 (美術I・書道I)	英語 コミュニケーションI	水産海洋基礎	海洋情報技術	地域探究	ホーム ルーム 活動	
2年	国語表現	地理総合	数学II	物理基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	漁業	航海・計器	船舶運用	30日航海 ホーム ルーム 活動
3年	国語表現	歴史総合	数学II	生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	航海・計器	船舶運用	小型船舶	30日航海 ホーム ルーム 活動

■在校生の声



菅野 元輝 (海洋開発科 海洋技術コース・3年)

私はテレビで見た漁師に憧れて、実習船「海洋丸」での航海実習がある海洋高校に入学しました。海洋技術コースでは、航海するための知識などを学ぶ「航海・計器」や船舶の設備などを学ぶ「船舶運用」、そして漁業に必要な知識を学ぶ「漁業」という科目を学んでいます。卒業後は大きな船舶を操縦するために必要な「三級海技士免状」を取得するため、水産系の大学または短期大学校への進学を目指しています。

海を造る、海と共に生きる未来を創る

キー・ワードは3つのE

海洋の「環境」を理解し、開発・制御する「技術」を身につけた、海洋空間創造の「専門家」を目指します。

環境
Environment
(エンバイロメント)

技術
Engineering
(エンジニアリング)

専門家
Expert
(エキスパート)



主な
専門
科目

総合実習

ダイビング、測量、溶接の基礎的な技術を習得した後、それらを活用した送気式潜水による水中作業などを行います。また、乗船実習では海洋観測や自然海域でのダイビングを行います。

海と陸の
建設工事

海洋および沿岸域の建設工事を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

海洋環境

海洋環境の開発・保全・修復を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

ダイビング

海洋工事業や海洋環境調査で潜水を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

■カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学I	化学基礎	体育	保健	芸術選択 (美術I・書道I)	英語 コミュニケーションI	水産海洋基礎	海洋情報技術	地域探究	ホーム ルーム 活動			
2年	国語表現	地理総合	数学II	物理基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	水産海洋科学	海洋環境	ダイビング	海と陸の建設工事	海と陸の測量	ホーム ルーム 活動
3年	国語表現	歴史総合	数学II	生物基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションII	家庭総合	課題研究	総合実習	水産海洋科学	海洋環境	海と陸の建設工事	ホーム ルーム 活動		

■在校生の声



宮坂 相生 (海洋開発科 海洋創造コース・3年)

私は水の中にいることが好きで、潜水実習などの魅力的な学習ができる海洋高校に入学しました。2年生の乗船実習で行われる佐渡島の潜水実習は、今まで見たことがない景色が目前に広がり、とても印象に残っています。また、作業潜水中の事故原因と対策を考える授業では、クラスメイトと意見を出し合うことで、自分だけでは意識できなかったことにも気付くことが面白かったです。将来は、潜水士になって海の中から日本を支えたいと考えています。

取得可能資格・検定

水産科

- 水産海洋技術検定
- 普通救命講習修了
- 文部科学省後援硬筆書写検定3級
- 文部科学省後援硬筆書写検定4級
- 漁業技術検定
- 海洋情報技術検定
- 特殊小型船舶操縦士
- 糸魚川ジオパーク検定



水産資源科

- 資源育成コース

 - 栽培漁業技術検定2級
 - 二級小型船舶操縦士
 - 潜水士
 - 乙種4類危険物取扱者
 - 丙種危険物取扱者

食品科学コース

 - 食品技能検定(第1類)
 - 食品技能検定(第2類)
 - 食品技能検定(第3類)
 - HACCP基本技能検定
 - 食物調理技術検定2級
 - 食物調理技術検定3級
 - 食物調理技術検定4級
 - 食品衛生責任者
 - 二級小型船舶操縦士
 - リテールマーケティング(販売士)検定3級
 - 乙種4類危険物取扱者

海洋開発科

- 海洋技術コース

 - 五級海技士(航海) 筆記試験免除・免許講習修了
 - 四級海技士(航海)筆記試験
 - 一級小型船舶操縦士
 - 第二級海上特殊無線技士
 - 潜水士
 - 乙種4類危険物取扱者
 - 丙種危険物取扱者
 - 上級救命講習修了

海洋創造コース

 - 潜水士
 - 二級小型船舶操縦士
 - 2級土木施工管理技士補
 - 港湾潜水技士(3級)学科
 - ガス溶接技能講習修了
 - アーク溶接特別教育修了
 - 小型車両系建設機械(掘削・積込・整地)特別教育修了
 - 潜水技術検定2級(ダイビング認定証・エントリーレベル)

卒業後の進路 過去3年間の実績 (令和4年度～令和6年度)



	令和6年度	令和5年度	令和4年度	合計
卒業生	74	62	72	208
就職	33	32	30	95
進学	41	30	41	112
その他	0	0	1	1

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	合計
就職	33	32	30	95
大学	13	8	9	30
短期大学	2	6	8	16
専門学校等	10	16	24	50
その他	0	0	1	1
合計	58	62	72	192

主な進学先

大学

- 東京海洋大学
- 長崎大学
- 近畿大学
- 日本大学
- 東海大学
- 福山大学
- 東京農業大学
- 石巻専修大学
- 吉備国際大学
- 長崎総合科学大学
- 日本体育大学
- 国士舘大学
- 立命館大学
- 朝日大学
- 愛知学院大学
- 太成学院大学
- 富山国際大学
- 長岡大学

大学校等

- 清水海上技術短期大学校
- 宮古海上技術短期大学校
- 波方海上技術短期大学校
- 小樽海上技術短期大学校
- 新潟県農業大学校
- 新潟工業短大
- 富山短期大学

専門学校

- 日本さかな専門学校
- 国際ペットワールド専門学校
- 国際調理製菓専門学校
- 新潟調理師専門学校
- 中央工学院
- 上越テクノスクール
- 新潟コンピュータ専門学校
- 新潟デザイン専門学校
- 大阪バイオメディカル専門学校
- 日本アニメマンガ専門学校
- 国際ビューティーモード専門学校
- 日本軽種馬育成技術者研修所

主な就職先

水産・海洋関係

- 弓ヶ浜水産株式会社
- 近畿大学水産研究所
- 兼升養魚漁業生産組合
- 株式会社林養魚場
- 共同船舶株式会社
- 大洋イーアンドエフ株式会社
- 佐渡汽船株式会社
- 新潟潜水興業株式会社
- 株式会社ブルーウェーブ
- 神奈川潜水有限会社
- 角上魚類株式会社
- 株式会社能水商店
- 株式会社ホンマ
- 新潟中央水産市場株式会社
- 上越漁業協同組合
- 各種漁船

その他

- 株式会社ブルボン上越工場
- 山崎製パン株式会社
- 株式会社ウオロク
- エスピーガーリック食品株式会社
- 株式会社コメリ
- くびき野森林組合
- 日本純良薬品株式会社
- デンカ株式会社青海工場
- 信越化学工業株式会社
- 信越ポリマー株式会社
- 田辺工業株式会社
- 株式会社谷村建設
- 株式会社植木組
- 株式会社笠原建設
- 福田道路株式会社
- 積水ハウス建設上信越株式会社
- 新潟太陽誘電株式会社
- ナミックス株式会社
- アパホテル株式会社
- 平安セレモニー株式会社
- 陸上自衛隊・海上自衛隊 一般曹候補生

※記載の進学先就職先は一部になります

新潟県立海洋高等学校

NIIGATA PREFECTURAL KAIYO HIGH SCHOOL

〒949-1352 新潟県糸魚川市大字能生3040
 TEL.025-566-3155 / FAX.025-566-4781
 E-mail : school@kaiyou-h.nein.ed.jp

アクセス

海洋高校は、日本海を見下ろす糸魚川市能生の井陵台にあります。能生は、糸魚川と上越の中間に位置する漁業と観光のまちです。日本海ひすいライン能生駅から徒歩10分。



詳しくはホームページで
<https://kaiyou-h.nein.ed.jp>

海洋高校の情報が盛りだくさん
[航海日誌](#) [検索](#)



県外を含めた遠方からの生徒も入学できます / 遠方からの生徒のために男子寮および女子用宿舎があります